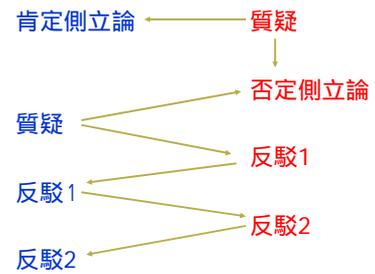


ディベート入門

平成18年10月28日

フォーマット



フローシートの使い方

- 大きい紙を使い、折り目をつける
- ペンの色を肯定・否定で変える
- 項目別に紙を変える
- 略号を使う
- ナンバリングをはっきり記録する
- 証拠資料有の箇所に印をつける

事前の準備

- 資料を集めケーススタディをしておく
- 資料を整理しブリーフ化しておく
- 時間を計りながらスピーチ練習をしておく
- 証拠資料やチャートにタイトルをつけておく

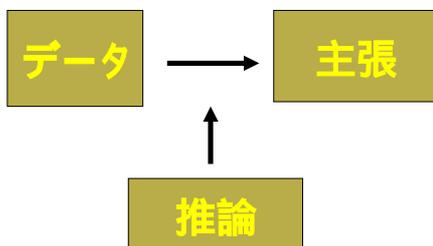
わかりやすさの工夫

- 見出しをつける(ラベリング)
- 番号をふる(ナンバリング)
- 反論の対象を明らかにする

立論(Constructive Speech)の作り方

- (最終目標・・・哲学に基づいて理想を述べる)
- 定義・・・言葉の意味を明確にする
- プラン・・・具体的な政策案を示す
- メリット・・・プラン導入でどんな利益があるか
- デメリット・・・プラン導入でどんな弊害があるか

論証の構造(三角ロジック)



論理

- 三段論法
- 演繹法
- 帰納法

肯定側立論の基本姿勢

現状に問題がある → プランによって解決する

将来メリットがある → プランによって利益をもたらす

否定側立論の基本姿勢

現状に問題がない → プラン導入の必要がない

将来デメリットがある → プランを導入してはいけない

最終目標 (Final Goal)

- チームの哲学を述べる
- 抽象的且つ汎論的
- 肯定側のプランを導入した後でもたらされる理想的な状態
- メリットと重なることもある
- 言わなくてもよい

定義 (Definition)

論題中の語句の意味を明確にする

プラン

- 具体的な政策実行案
- 論題の範囲内であること
- 実行主体が実際に実行するかどうかは議論しない
- 否定側はカウンタープランを出せない

プランの構造

- 主体
- 命令条項
- 施行手続き
- 財源
- スパイクプラン

メリット

■ 重大性

- プランを導入しなければ発生しない
- プランを導入すると発生する

否定側立論

- 現状分析に対する反論
- メリットの重大性の否定
- プランとメリットの因果関係に対する反論
- プランの問題解決性の否定
- 弊害の発生

否定側第1反駁 (Rebuttal Speech)

- 主張を攻撃する
- 証拠を攻撃する
- 論拠を攻撃する
- デメリットを補強する

肯定側第1反駁

- メリットの再構築
- デメリットの攻撃 (深刻性)

第2反駁 最終スピーチ

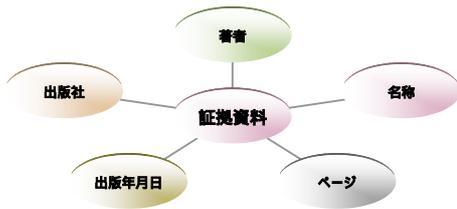
- 個々の論証の比較
- メリット・デメリットの評価
- 全体的な論証の比較
- アピール

フローシート全体の流れ

肯定立論	否定質疑	否定立論	肯定質疑	否定1反	肯定1反	否定2反	肯定2反
M1	質問			反駁	反駁	反駁	反駁
M2				反駁	反駁		
		DM1	質問		反駁	反駁	
		DM2			反駁		

証拠資料 (Evidence)

- 出典を明らかにする



証拠資料

- 忠実で正確な翻訳
- 著者の職業・専門性
- 意図・主張を明らかにする
- 引用開始と終了を明らかにする

質疑 (Cross Examine) の目的

- よくわからなかったところを聞く
- 論理の展開を確認する
- 矛盾点を明らかにする
- 弱点を明らかにする
- こちらの論理を認めさせる

質疑時の注意

- 一問一答形式
- できるだけ「はい」「いいえ」で答えさせる
- 端的に質問する
- 答える側は質問しない
- 逃げない
- マナーに気をつける
- 相手に補強させない
- 後のスピーチにつなげる

反駁の技巧

リンクターン

論理のつながりをひっくり返す

インパクトターン

重大性の価値をひっくり返す

固有性の否定

否定側の主張するデメリットはプラン
を採用しなくても発生する

敷居値超過

現状は崖っぷちにあり、プランによってこの限界を超える

リスクの増加

過去にプランと似たようなことがあったのにデメリットが発生していないのは単なる幸運であり、類似事例が増えれば潜在リスクは高まる

経験的否定

過去に似たような事例があったのに相手が主張するようなことは起きなかった

反駁の練習

演習問題で反駁の練習をしてみましょう

演習問題

演習問題1

- 主張:小学生の国語の成績を上げるためには教育漢字の数を減らすべきだ
- データ:今年日本の小学校で行った学力調査によると、最近の小学生は国語の成績が10年前に比べて35.6%も下がった。
- 推論:成績が下がるのは漢字が小学生にとって難しく、また面倒だからだ

演習問題2

- 主張:車上荒らしの被害を防ぐには車のドアをロックしないほうがよい
- データ:NHKのニュース報道によると車上荒らしの被害にあった車のうち約30%がドアをロックしていなかったことがわかった
- 推論:ドアをロックした車は70%も被害にあっている

演習問題3

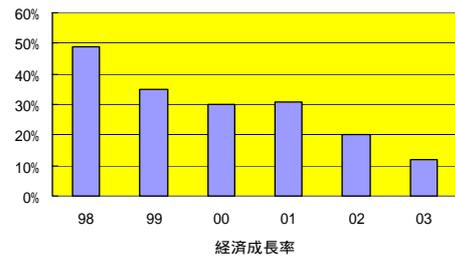
- 主張:山口さんと三浦君は恋人同士である
- データ:先日バレンタインの日の放課後、山口さんは三浦君に学校でチョコレートを渡し、そのあと二人は一緒に帰った
- 推論:愛の告白をするバレンタインの日にチョコレートをあげたり二人で一緒に帰るのは恋人だからである

演習問題4

- 主張:最近の子供は礼儀を知らない
- データ:私の通勤中にすれ違う子供たちは誰も私にあいさつをしない
- 推論:あいさつをしないのは礼儀を知らないからだ

演習問題5

このグラフからわかる通り、日本は今不況である。



演習問題6

- 主張:死刑を廃止すべきである
- データ:2005年度犯罪白書によると死刑を宣告された囚人のうち99.8%は深く反省し悔悟していることがわかった
- 推論:刑罰の目的は犯罪者を反省させ悔悟することであり、既に非常に高い割合で目的が達成されているので死刑にする理由がない

判定

- メリット > デメリット 肯定側の勝ち
- メリット < デメリット 否定側の勝ち
- メリット = デメリット 否定側の勝ち

判定のポイント

発生頻度 × 重大性 × 深刻性 = メリット・デメリットの大きさ
(注: 論議されなかったメリット・デメリットの数の比較ではない)

メリット・デメリットを比較検討 プランシステムの純利益

プランとの因果関係を比較

- ・プランを導入した場合の純利益
- ・プランを導入しなかった場合のシステム

証明責任のチェック

反則の有無のチェック

判定の注意

- 内容のみで判定し人格で判断しない
- 信条・思い込み・偏向を排除する
- 審判の専門知識を排除する
- 沈黙は了解を意味する

教室ディベート

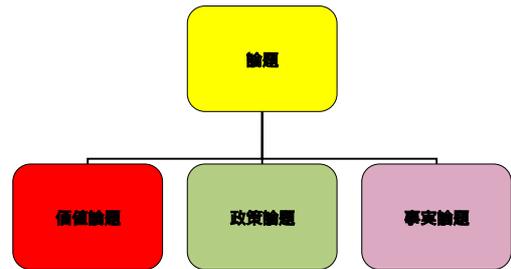
ディベートを通して身につく能力

- 理解力
- 分析力
- 構成力
- 伝達力
- 論理的思考
- 情報収集力

教育ディベートの種類

- ポリシーディベート
- パーラメンタリーディベート
 - 1人制
 - 2人制
 - 4人制
 - 5人制
- 1コン1リバ
- 1コン2リバ
- 2コン1リバ
- 2コン2リバ

論題の種類



教室ディベート

- 取り組みやすい論題
- 役割分担
- 均等振り分け
- PCのフル活用
- レポートの活用
- 紙面ディベート
- 競技ディベートとの兼ね合い

問題点

- 多人数クラス
- 評価法
- 向き不向き
- 陰の努力

まとめ

- ディベートは決して難しい
- とにかく実際に体験してみよう
 - 先生 VS 学生
 - 先生 VS 先生
 - 先生一人 VS 学生多数
 - 学生一人 VS 先生多数 などなど